

DVD 「新潟県中越地震の記録

よみがえる山古志」(案)

(映像)

(ナレーション)

1. オープニング

2. タイトル

(小栗山より、信濃川・小千谷市方面)

3. 震度分布図

(気象庁 HP)

2004年10月23日、新潟県中越地方を中心に、北陸・東北・関東地方にかけて、広範囲に強い地震が発生し、各地に大きな被害をもたらしました。

4. 新聞報道

(新潟日報)

翌日、10月24日の新聞報道です。新潟県中越地震のことが大きく取り上げられています。

5. 被害規模の概要

(信濃川・魚野川合流地点)

被害規模は、時間が経つにつれて次第に増大し、初めての新幹線脱線事故も起こりました。この年は、無常にも19年ぶりという大雪が追い討ちをかけました。

6. 主な被害状況

(木沢トンネル)

被害は、ライフラインから、河川、構造物、斜面に至るまでほとんどが被災しました。内陸部直下型地震のため、中山間地では地すべり地形と相俟って被害が大きくなりました。河道閉塞も各所でみられました。

7. 斜面崩壊(上空)

(長岡市妙見町)

大規模な斜面崩壊が県道を寸断し、通行中の車を巻き込みました。また崩壊した土砂は、上越線のトンネル坑口を塞ぎました。

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 8. 斜面崩壊（長岡市側）
（長岡市妙見町） | 県道を大量の土砂が塞ぎ、通行止めになっています。 |
| 9. 朝日川河道閉塞
（小千谷市浦柄） | 地すべりにより朝日川の河道が堰き止められ、濁流が集落や道路上を流下しました。 |
| 10. 河道閉塞（上空）
（長岡市山古志東竹沢） | 高さ 31.2m、最大長 320m、最大幅 168m に及ぶ大規模な地すべりが河道を閉塞し、国道までも遮断、上流の集落を水没させました。 |
| 11. 県道 23 号・梶金橋 | 旧東竹沢小学校下の県道と芋川にかかる梶金橋です。道路も橋も大きな被害を受けました。 |
| 12. 小籠集落水没（上空）
（長岡市山古志東竹沢） | 河道閉塞により水位が上昇、道路や家屋を含めて集落が飲み込まれました。 |
| 13. 河道閉塞（上空）
（長岡市山古志種苧原） | 下流の東竹沢地区に次いで大きな地すべりが発生し、河道を塞ぎました。高さ 31.3m、最大長 260m、最大幅 123m です。 |
| 14. 河道閉塞（斜め前方） | 地すべり土塊の端部、仮排水路から水が勢いよく流れています。 |
| 15. 仮設工事用道路 | 地すべりにより県道が引き裂かれたため、仮設の工事用道路が施工されました。 |
| 16. 中継ポンプ施設転倒 | 斜面上に設置されていた簡易用水中継ポンプ施設が無残にも転倒しています。 |

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 17. 家屋全壊
(小千谷市塩谷) | 裏山が崩れて木々がなぎ倒され、家屋の全壊や道路が遮断されました。 |
| 18. 転落・転倒した自動車と電柱 | 崩壊土砂とともに、自動車や電柱までもが、道下の川べりに転がり落ちています。 |
| 19. 谷埋盛土崩壊 1
(高町団地) | 谷埋盛土部分が崩壊し、団地周辺の外周道路がすべり落ちています。 |
| 20. 谷埋盛土崩壊 2 | 盛土の崩壊が、住宅基礎の寸前まで迫り、非常に危険な状態です。 |
| 21. 道路被害 1
(川口町田麦山) | 道路が大きく陥没し、水が溜まっています。 |
| 22. 道路被害 2
(川口町田麦山) | 農道や用排水路など農業基盤施設が至る所で被害を受けました。 |
| 23. 道路被害 3
(長岡市山古志虫亀) | 道路の路肩部や路面は微細に破壊されています。 |
| 24. 道路被害 4
(魚沼市根小屋) | 道路に 1.2m にも及ぶ極めて大きな段差ができ、通行不能になりました。 |
| 25. 道路被害 5
(長岡市乙吉町) | 道路は大きく崩壊し、交通路は寸断されました。 |
| 26. 道路配水管埋設部の沈下
(柏崎市大広田) | 地震の激しい揺れにより埋設管が破損、路面が線状に沈下しています |
| 27. マンホールの隆起
(長岡市渡沢町) | 地震の揺れでマンホールが隆起しています。この異様な光景は多く見られました。 |

28. 棚田の崩壊
(長岡市山古志種苧原)
- 山古志の原風景である棚田は、畦畔の損壊や田面の亀裂により、荒々しい光景を呈しています。
29. 野田ため池の被害 1
(川口町中山)
- 農業用水を湛えるため池は大きな被害を受け、湛水機能を損なっています。
30. 野田ため池の被害 2
- ため池の堤体部が亀裂や沈下、変状を起こしています。
31. 路面の凸凹
(長岡市釜沢)
- 道路が波打ち、変形しています。橋などのコンクリート構造物との接続部は、多くの場合段差を生じています。
32. 線路の宙吊り
(小千谷市木津)
- 小千谷市と川口町の行政界付近において、道路や鉄道下の斜面が崩れ、線路・枕木が垂れ下がっています。
33. 地盤の液状化
(小千谷市高梨町)
- 長岡市・小千谷市の信濃川沿には、表層にシルトや砂が堆積し、地震によって地盤の液状化現象が起きました。
34. 川口駅前商店街被害
(川口町川口)
- JR 川口駅前の商店街周辺では建物が大きな被害を受け、瓦礫が至る所で散乱していました。
35. 長岡市役所山古志支所被害
(旧山古志村役場)
- 堅固に作られている庁舎であっても、建物内外にかなりの被害を受けました。
36. 山古志診療所入り口段差
- 旧村役場に隣接する診療所でも大きな被害を受けました。
37. 墓石倒壊
(川口町中山)
- 寺院の墓石がことごとく倒壊しています。

38. 体育館避難生活
（県立長岡農業高校）
- 被災した人々は暫くの間、体育館内などで集団避難生活を余儀なくされました。
39. 仮設住宅
（長岡市洋光台）
- 小学校のグラウンドや丘陵地などに仮設住宅が建てられ、仮住まいを強いられました。
40. 復興・復旧
（立木にまつわりつく藤蔓）
41. 斜面復旧 1
（長岡市妙見町）
- 生々しい光景は見られますが、崩壊した土砂が少しずつ取り除かれています。
42. 斜面復旧 2
- 早期の開通に向かって、道路より上の斜面が急ピッチで復旧されています。
43. 斜面復旧 3
- 人が足を踏み入れるだけでも急な斜面に施工機械が入り作業行っています。
44. 斜面復旧
（小千谷市浦柄）
- 河床にヒューム管を並べて流路を確保し、崩壊斜面の法面保護が行われています。
45. 河道閉塞復旧 1
（長岡市山古志東竹沢）
- 湛水によって古い橋が水没したため、水面からより高い位置に新しい橋がかけられました。
46. 河道閉塞復旧 2
- 仮設の排水路はまだそのままですが、砂防堰堤が徐々に完成へ向かっています。
47. 河道閉塞復旧 3
- 工事が着々と進み、付け替えの新設道路もできています。

48. 家屋水没、架橋工事
新築の家屋が生々しく水面から頭を出していますが、一方では橋の付け替え工事が行われています。
49. 斜面復旧 1
（長岡市山古志種苧原）
斜面の上部はその面影を残すことなく復旧されました。
50. 斜面復旧 2
上下はまったく対照的で、復旧後の箇所は整然としています。
51. 斜面復旧 3
河道閉塞、天然ダム、復旧箇所の光景が全貌できます。
52. 道路復旧
（長岡市山古志東竹沢）
国道が寸断され、復旧工事が始まろうとしています。
53. 河川・斜面復旧
（小千谷市塩谷）
砂防堰堤の整備と斜面の復旧工事が行われています。
54. 道路復旧
（小千谷市塩谷）
孤立した集落間内を通る県道が完成しました。
55. 野田ため池の復旧 1
（川口町中山）
被災したため池の堤体土砂を一時撤去し、土に石灰を混ぜて土質改良を行っています。
56. 野田ため池の復旧 2
石灰安定処理土を、またこの場所に戻し、締固めて築堤しています。
57. 自衛隊救援活動
（県立長岡農業高校）
自衛隊による救援活動が各地で行われました。テントの中は仮設の浴槽です。
58. 支援物資
（長岡市役所庁舎内）
庁舎内に各地から送られてきた支援物資が山積みされています。

- 59.炊き出し
(市立柿小学校)
- 協力しての炊き出しが、空腹を満たしてくれます。
- 60.仮設住宅・屋根の雪下ろし
- 一冬数回の雪下ろしは、高齢者にとって非常に重労働です。ボランティアによる作業が行われています。
- 61.線路の復旧
(川口町相川)
- 上越線の線路の宙吊り箇所も完全に復旧されました。
- 62.スーパー・安田屋
(川口町川口)
- 地震でスーパーは全壊しましたが、苦境を乗り越え、地元のショッピングセンターとして店舗は再建され営業しています。
- 63.道路復旧
(川口町田麦山)
- 陥没した道路が元通り復旧されました。
- 64.マンホール復旧
(長岡市渡沢)
- 道路上に隆起したマンホールも修復されました。
- 65.小栗山地すべり復旧
(小千谷市小栗山)
- 斜面上の広大な地すべりは保護対策が施され、災害を思わせることなく復旧されました。
- 66.道路・鉄道復旧
(長岡市妙見町)
- JR のトンネル付近の坑口や道路を塞いだ岩塊がきれいに取り除かれ、復旧されました。
- 67.道路復旧
- 斜面は法粹工・種子散布工・厚層基材吹付工・アンカー工などの対策が施され、道路が復旧しました。
- 68.長岡市役所山古志支所被害修復
(旧山古志村役場)
- 正面の階段段差や外壁の修復も終わり、新たに長岡市役所山古志支所として、業務が再開されました。

69. 旧山古志村役場裏斜面復旧
旧山古志村役場裏の駐車場は、地震によって斜面が崩壊し、危険な状態でしたが、法枠工や植生工によって対策が施されました。
70. 油夫川復旧
（長岡市山古志竹沢）
旧山古志村役場と山古志小・中学校の間を流れる油夫川は、地すべり土塊や崩壊土砂によって河道が閉塞されました。砂防堰堤の設置や流路工が施され、周辺斜面とともに復旧されました。
71. 山古志小・中学校 1
震災前小学校は別の場所にありましたが、大きな被害を受けたため解体されました。以前からある中学校の敷地に、新たに校舎が再建されました。
72. 山古志小・中学校 2
地震発生から約 2 年が過ぎ、平成 18 年 10 月 30 日に、小・中学校とも新しい校舎で授業が再開されました。
73. トンネルの坑口上部の斜面復旧
（小千谷市浦柄）
上越新幹線、妙見トンネルの坑口上部から大規模な斜面崩壊が発生し、法枠工を中心とした復旧工事によって対策が施されました。施行後の整然とした人工物が目を引きます。
74. 河道閉塞・地すべり復旧
（小千谷市浦柄）
地すべりによる朝日川の埋没箇所では、滑落部に法枠工やアンカー工、集水井などが施されました。
75. 河道閉塞復旧
（長岡市山古志東竹沢）
河道閉塞箇所には 2 基の砂防堰堤が設置され、また損壊した梶金橋は解体されて新たな橋が建設されました。

76. 高町団地斜面復旧
地すべり箇所には補強土工事などが行われ、復旧されました。植生によって全面が被覆され、被害による生々しさは全く想像できません。
77. 錦鯉
山古志は錦鯉発祥の地といわれていましたが、地震により養鯉池や越冬施設が大きな被害を受けました。人々は泳ぐ宝石を絶やさないように錦鯉産業の再生に取り組んでいます。
78. 牛の角突き・臨時闘牛場
(長岡市栖吉町)
牛の角突きは古くから神事として行われてきました。闘牛場は各地で被害を受け、一時行事は中止になりましたが、伝統ある闘牛大会の復活を目指して再開されました。
79. 大花火大会
(信濃川河川敷)
平成 17 年 8 月 3 日、長岡市に近い信濃川河川敷では、復興への祈りをこめて大花火・フェニックスが打ち上げられました。
80. 復旧水田
(長岡市山古志虫亀)
水田においては、水が命です。地震により用水の確保ができなかったり、漏水により多くが作付け不能になりました。現在では修復され稲作時期には満々と水を溜めています。
81. 手植え作業
(長岡市山古志種芋原)
トラクターや耕耘機が見られたり、手植えによる農作業など、中山間地ならではの懐かしい光景が戻ってきました。
82. 新聞報道(3年目)
地震後、3年目の新聞報道です。復旧・復興の記事が紙面を賑やかしています。

83. エンディング
燈台（北村西望作）

昭和8年9月1日、関東大震災10周年記念塔として東京銀座の一角に建てられた銅像彫刻です。震災の歴史を記念する貴重な文化財として建立されました。

84. 資料提供